

▼ソナゾイド注射用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ペルフルブタン perflubutane 【分類】 超音波診断用造影剤

【単位】 ▼16 μ L/V [懸濁用注射用水 2mL 付]

【常用量】 16 μ L(1V)を添付の注射用水 2mLで懸濁し、0.015mL/kgを静注

【用法】 静注 [調製法、検査施行タイミング等は添付文書参照]

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 水素添加卵黄ホスファチジルセリンナトリウムを用いたシェル内にペルフルブタンを内包させたマイクロバブルを充填した凍結乾燥注射剤。超音波検査における肝腫瘍性病変、乳房腫瘍性病変の造影に使用される。肝クopp細胞内に取り込まれることを利用した造影が可能。

【主な副作用・毒性】 下痢、頭痛、蛋白尿、好中球減少、発疹、口渇など

【代謝】 代謝を受けない (1)

【排泄】 96.4%が未変化体として呼気中に排泄 [ラット] (1)

【CL】 20g/min/kg (1)

【t1/2】 α 相 2.7min, β 相 7.3min (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 0.07kg/kg [懸濁液] (1)

【MW】 238.03

【透析性】 資料なし (1) 消失が速いため、たとえ透析されたとしても透析性は無視できると思われる (5)

【O/W 係数】 LogP=4.09 [1-オクタノール/水系] (1)

【更新日】 20151126

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。